

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 放課後等デイサービス le'a | | 公表日 | | 令和8年3月10日 | |
|----------|----|--|----|-----|--|--|--|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | 活動別に部屋を分けている その時の様子を判断し仕切り板を利用し 活動しやすいように配慮している | 身体を使った遊び、運動をするスペースを広げたい | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 基準を満たしている | 視覚支援を行うことに対し、個別対応の必要性を考えると不十分と感じることがある | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 視覚的に分かるように玩具、絵本の配置をしている。 巻物カレンダーを利用し、行事を視覚化している | 引き続き視覚的に分かりやすく、過ごしやすい環境となるように配慮の必要性にお応じた対応を心がけていきます。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 毎日の掃除、消毒を行い清潔な環境に気をつけています。常に空気洗浄機も稼働しています | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 気持ちの切り替えなど、個別に対応する場合、1人になれる部屋で対応しています | 安心安全な環境づくりを心がけています | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | PDCAサイクルを心がけ、週1回ミーティングにおいて現状把握、課題抽出、業務の見直しを図っています。 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | ホームページに評価、公表を行っています 引き続き検討、改善につなげていきます | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | ミーティングで情報共有、検討、改善に繋がっています。 | 意見の出しやすい仕組み作りで業務改善に努めていきます | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | 現在は利用者と事業所内の評価のみになっております | 第三者評価の実施については今後の検討課題としてまいります | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 外部講師を招いた内部研修、外部研修に参加を行い支援の向上に努めております。職員各自がそれぞれ専門性の研修を奨励しています | 引き続き資質向上に努めます | |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | ホームページに公表しています | 保護者の皆様が周知できるよう努めます | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | お子様と保護者のニーズや課題を客観的に捉え分析した上で個別支援計画を作成しています | 一人ひとりのアセスメントと課題抽出、計画作成の質の向上に努めます | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 支援に係る職員が共通理解を図るためミーティングを開催し情報共有を図っています | 共通理解の拡充を図るため、書面、利用し情報共有の機会を増やしていく | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | ミーティングでの情報共有を行うと共に職員が個別支援計画もいつでも確認できるようにしています。 | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 保護者面談を行いニーズを把握、再確認したり行動観察を行い支援計画を作成しています。 | 引き続きアセスメントを活用し適応行動の状況を確認していきます。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | ガイドラインの提供すべき支援に沿った支援内容を踏まえた個別支援計画に反映、設定しています | 利用者様の特性や発達状態を踏まえ、具体的な支援内容を設定していきます | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | 日々の流れを汲みながら、個別に合わせたスケジュールを全体で把握、確認しながら行います | 個々の発達段階に応じたスケジュールの立案に努めます | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 様々なテーマで活動を設定していきます | 季節、行事をとり入れていきます | |

| | | | | | | |
|--------------|----|--|---|--|-----------------------|---------------------|
| 供 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | ○ | | 発達に応じ、個々の課題を入れています | 集団適応、社会性の課題も入れていきます |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 申し送り、日報の確認を開始前に行う | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | ○ | | 申し送り等共有している | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 毎日のアセスメント記録を徹底しています | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 6か月に1度、見直しを行っています | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。 | ○ | | 1・2, 3・4の組み合わせで実施している | 地域交流をもう少し強めています |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 活動の中で行っている | 意思表示の機会を増やしていきます |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 児童発達支援管理責任者が出席しています | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 体制は整っています | 情報共有を円滑に行えるよう努めます |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 情報共有、連絡調整は行っています | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | ○ | | 相互理解は行っています | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | ○ | | 支援内容等の情報は提供しています | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 情報共有は行っています | |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | ○ | | コロナ禍から減っている | 利用頻度を増やせるように努めます |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | ○ | | 2か月1回参加している | |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 記録表、line等で共通理解に努めています | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | ○ | | 2か月に1回保護者会を開催しています | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に説明させていただいています | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 利用者、保護者の意向を記載しています | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 説明をし同意を得ています | |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | いつでも相談できる時間を作っています | |

| | | | | | | |
|----------|--|--|---|--------------------------|----------------------|--------------------------|
| 保護者への説明等 | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | ○ | | 保護者会はありません | 2か月に1回保護者会（勉強会）は開催しています。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 対応しています | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | le'aだよりを月1回で出しています | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 厳重に管理しております | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | ベクス・おめめどうを導入しています | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | ○ | | 行っていません | 方辞意が運営する和太鼓では参加しています |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 定期的に訓練実施しています | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 定期的に訓練実施しています | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 事業所内での服薬はありません | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | ○ | | 対応しています | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 行っています | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 定期的にお伝えしています | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | 報告書を上げ周知、再発防止に努めています | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 定期的研修を行い、対応しています | |
| 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 記載しています。理由についても別紙に残しています | | |